

初めて身体障がい者向けの 財政講演会を開催しました



国の財政状況や政府の取組みを広く多くの方に知っていただくため、
身体障がい者をはじめ、学生、パパママ、高齢者、
社会福祉関係者などの皆さんに向け財政講演会を開催しました

NO.2

【財務部】

沖縄総合事務局財務部では、我が国財政の現状や政府の取組みを広く国民にお伝えし、理解を深めることを目的に、毎年、財政講演会を開催しています。

これまで、金融機関などの経済界や地方公共団体の皆さまを中心に参加をいたしましたが、今年は、広く多くの国民に情報発信することとし、講演会を2回に分け、初日は身体障がい者向け、2日目は学生（中学、高校、大学、専門学校）や子育て中の方、高齢者、社会福祉関係者向けに幅広くお声かけし、財務省主計局の吉野主計官（厚生労働係第一担当）を講師に開催しました。

手話通訳者や要約筆記者の配置などバリアフリー対応

8月16日、浦添市身体障が



▲手話通訳・要約筆記を交えた説明

講演会の最後に、浦添市身体障がい者福祉協会事務局長から「このような講演会は、情報のバリアフリー化を推進する上でも重要で、社会に大きな変革をもたらすとともに、私たちにさまざまな恩恵

質疑応答では、「消費税率を10%に引上げたとして、国の財政がどのくらい持つのか」などのご質問に、出来るだけわかりやすく説明を行いました。

▲職員からの手話による挨拶

前に関係者と幾度となく打合せを重ね、手話通訳者のほ

をもたらします。今後も障がい者向けの情報発信に努めてほしい」などの発言があり、参加者が両手を挙げヒラヒラさせる手話表現で拍手し閉会しました。

翌8月17日、学生（中学、高校、大学、専門学校）40名や子育て中の方12名、高齢者や社会福祉関係者などが幅広く参加

講師の財務省吉野主計官

13名、社会福祉関係者など56名の総勢121名に参加いたしました。

日頃、接觸の少ない層にお声かけしたことや、夏休み期間中であつたこと、準備期間が少なかつたこともあり、どれくらいの方に参加いただけるか心配しましたが、財務行政に繋がりのある大学教授、沖縄県社会福祉協議会、那覇地区老人クラブ連合会などに直接、ご案内差し上げたところ、最終的には、予定を大幅に上回る参加者で、各層の問題意識の高さを感じました。

アンケートでは、「有意義であった」「分かりやすかつた」と多くの評価をいただき、「医療制度については、全ての世代に関することなので、考えるきっかけになつて良かった。」「なぜ社会保障が増えていくのか、その内容が知れたので良かったです。」などのご意見が寄せられました。



▲熱心に聞き入る学生の皆さん